

「特別展」

皆様に、より作品鑑賞を楽しんで頂けるよう、
書に溶け込むピアノと舞踏をご用意しました。

この秋、三大芸術が舞い奏で五感を潤す



武藤健城

東京生まれ。パークリー音楽院にて学位取得。作曲家。作曲を、菊池幸夫、Vok Klenovich、Jim Smith、John Bavicchiの各氏に師事。

ピアノを武藤美奈子、Doug Johnsonの各氏に師事。

作品が国内外のコンサートで演奏される一方、バレエ、演劇、映画などにも音楽を提供。作品展は既成のホールに留まらず様々な場所で行われ、先鋭性と伝統性が共存する音楽が高く評価されている。

ソニーオーディオ大賞優秀賞、JSCM作曲賞入選など。

主な作品:

2008 ピアノソナタ

2007 2台のピアノとパーカッションのための「不審な美女」(4ps委嘱作品)

2007 ピアノ4手のための「舟歌」(スワベック・コバレフスキ委嘱作品)

2005 バレエ「妖嬈物語」(クラシックバレエスタジオ「ラ・プリマ」委嘱作品)

2004 「ベルガモツトの音楽～ピアノ、クラリネット、三味線強き語りのための」

2002 「藍色の響～フルートとチェロのための」(第18回JSCM作曲賞入選)



HAJIME

2才より日本舞踊を学び、東京新聞主催全国舞踊コンクール第一位、文部大臣奨励賞、東京都知事賞、全国舞踊コンクール賞を受賞。アテネオリンピック開会記念祭へ国賓として招かれ公演。またハンガリー、イタリア、スイス、ドイツでも国賓として巡業公演を主催。国内では歌舞伎座、国立劇場、NHK、新宿コマ劇場などに出演。

日本舞踊界で長らく活躍をしてきたが、自分らしい表現方法を模索し公演活動の幅を広げるべく日本舞踊の世界を離れ、「HAJIME」として横浜・大阪に拠点を移し、コンテンポラリー、洋舞、演劇など様々なジャンルを融合した作品を発表している。

一般の方にも親しみやすく、楽しく舞台表現に気軽に触れて貰うため「用の会」を立ち上げ、講師としての活動も始める。

全4回公演日程のご案内

平成21年11月28日 11:00～

平成21年11月28日 14:00～

平成21年11月29日 11:00～

平成21年11月29日 14:00～

演目のご案内

クロード・ドビュッシー

『前奏曲集』より

デルフの舞い姫たち

亜麻色の髪の子乙女

沈める寺・・・他

～オリジナル曲/書をイメージした曲と舞



* 都合によりプログラムの内容は予告無く変更になる場合があります。ご了承下さい。